



前橋育英 高校報

建学の精神 ~正直・純潔・無私・愛~

CHANGE!! 1

CHANGE!! 2

CHANGE!!

前橋育英は変わります

CHANGE!! 3

CHANGE!! 4

CONTENTS

▶ 2・3



【特集】

CHANGE!!

~前橋育英は変わります~

- 進路
- スポーツ実績

▶ 4・5



保護者会だより

- 輪読会
- スポーツレクリエーション
- 全P連・マナーアップ
- 進路講演会
- 吹奏楽部定期演奏会

▶ 6



同窓会だより

- 同窓会長挨拶
- 親子二代同窓生
- 私の近況報告
- 退職に際し

▶ 7



後援会だより

- 後援会長挨拶
- 優秀「育英生」を顕賞
- 先進私学視察 合同研修会
- 役員一覧

▶ 8



トピックス

- SPP
- スポーツエアロビクス 世界一!!
- 北京オリンピック報告
- 明石杯英語コンテスト

etc...

etc...

速報!! 陸上部(駅伝)、バスケット部、サッカー部全国大会出場決定!!

CHANGE!! さらなる飛躍に向けて

2009年 前橋育英は変わります

本校は昭和38年に創立され、以来46年にわたり有為な人材を世に送り出しています。卒業生の総数は1万9千名を超え、社会の各分野で活躍しています。その伝統を引き継ぎつつ、さらなる飛躍を期して各科をリニューアルします。

CHANGE!! 1

- 普通科特進選抜コースを設置
- 学特試験S合格・A合格を中心としたクラス編成
- 従来の普通科特進コースも進学面をさらに強化
- 難関大学への合格を果たす「受験対策」に特化した教育

CHANGE!! 2

- 普通科総合進学コースを設置
- 充実した高校生活と多様な進路に対応

CHANGE!! 3

- 普通科スポーツ科学コースを設置 (平成21年度より体育科を改組)
- 専門実技のさらなるパワーアップと5教科中心の基礎学力の定着
- 女子のトップ・アスリート育成にも対応

CHANGE!! 4

- 育英短期大学(保育学科・現代コミュニケーション学科) 育英メディカル専門学校との連携をさらに強化

共通した理念

- 思考力・判断力・コミュニケーション能力の養成による「総合的な人間力」の強化
- 早期に職業観を育成し「実用的能力を向上」させる教育
- それぞれの目標や適性を尊重し、相互に高め合う態度の育成

進路

過去3年間
進路実績

大学合格者数
1,295名
(現役1,047名)

国公立大学合格者数
134名
(現役110名)

私立大学合格者数
1,161名
(現役937名)

進路ガイダンス

進路ガイダンスは、進路希望者に対しては、専門学校の現状についての説明会を実施した後、学科系統別の説明会を二カ所所受講します。就職希望者に対しては、公務員と民間企業に分かれ、試験内容から面接の仕方など就職試験に関する内容を、受講します。



全校生徒を対象に、三年生は六月、二年生は十月、一年生は十一月に実施しています。大学・短大希望者に対しては、入試動向などを踏まえた講演を聞き、学部・学科系統別に分かれて大学の先生方による模擬授業を受講します。講師は県内の国公立大学をはじめ、首都圏を中心とした私立大学の先生方に依頼し、授業を受けている生徒は、さながら大学生のようです。

進学合宿



進学合宿の目的は一日十時間以上の学習に耐えられる生活習慣を身につけることです。今年度は七月二十三日〜二十六日の三泊四日の日程で、菅平高原(長野県)で実施しました。参加者は一・二年生合わせて八十名。食事・入浴・睡眠時間以外は教材に向かっの学習時間というハードな中にも充実したものでした。初めての進学合宿を経験する生徒にとっては不安なことばかりだったと思いません。しかし、時がたつにつれてその不安は払拭され、達成感と自己の再発見・受験への自信などを得ることができたようです。この合宿を経験した生徒の今後の活躍が楽しみです。

校内補習

授業内容の発展・基礎固めの意味を踏まえて補習を実施しています。平常時は放課後を使い、週三〜五日実施します。三年生は土曜補習もあります。長期休業中には特進夏期集中講義、夏期校内補習、冬期校内補習があり、数多くの生徒が受講しています。一年生は基礎固めを行います。二年生から科目を増やして、一層充実したものになっていきます。三年生では、入試演習の講座が多くなり、実践に即した問題演習を行います。

校内模擬試験

生徒の成績の推移(全国・県内・校内)・教科の得意・不得意分野の把握、教科指導の手引きとなるように模擬試験を実施しています。一・二年生は年三回の全国模試、年二回のスタディサポート、小論文模試(二年二回・一年一回)、三年生は年十回の全国模試、年二回の小論文模試があります。大事なことは一回ごとの成績に一喜一憂せず受験後のフォローと、最後まであきらめずに自分を信じて目標を実現することです。

まもなく創立五十周年

理事長 中村 義寛



昭和38年4月12日に前橋育英高等学校が開校してからは、46年目を迎えました。第一期生の方は還暦を迎え、その方々を筆頭に既に2万人に近い卒業生の皆さんが、社会の様々な分野で活躍されており、学園としても喜ばしく思います。

4年後の創立50周年に向け、ソフト・ハード両面で改革が実施され、あるいは計画されています。来年度からは現在の

の体育科が改組転換され、定員120名(男女)の普通科スポーツ科学コースとしてリスタートします。既存の普通科も、きめ細やかな類型化により、生徒一人ひとりの目標にあった普通科として強化を図ります。また、県内唯一の保育科にあつては、教育内容の更なる充実を図り、育英短期大学との連携を一層強化し、教育の質の向上を目指します。50周年記念事業としての総

合体育館の建設、校舎等の施設・設備のリニューアルにより、文・武両面において生徒の個性・能力を最大限に伸ばす環境作りをしていく予定です。育英高校が目標とするものは、「正直・純血・無私・愛」の建学の精神に基づく心の教育、知育・徳育・体育のバランスのとれた教育であり、そのためには生徒本人、保護者、そして学校が連携をとることができるとの要であり、その実現のため、学園としても充分な支援を図っていく所存です。今後とも関係各署・諸団体の皆様の、より一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

さらなる飛躍に向けて

校長 小茂田 惠三



今年度も早いもので降霜の時節になりました。関係各位にはご健勝にて日々お過ごしのことと拝察致します。また、平素から本校の教育活動に対してご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。さて、この平成二十年

の類型化で、特進選抜コースを設置し進学の強化を図っていきます。いわゆる普通科I類で従来の特進コースはII類となります。二つ目は進学コースで、充実した高校生活と多様な進路に対応して総合進学コースとし、III類になります。次に、体育科を改組して普通科IV類スポーツ科学コースとします。また、保育科は育英短

期大学との連携をさらに強化させていただきます。以上の改革の中で「体育科」から「スポーツ科学コース」への改組は、①運動技能に加えて学習意欲の高まり。②上級学校への進学率の伸張。③運動種目の専門性の高まりによるフィジカル・メンタル両面にわたる鍛錬の必要性等の理由で行います。また、女子も受け入れ、男女共学とします。歴史と伝統を受け継ぎつつ、そこに新しいものを加え、次のステージにステップアップする。前橋育英高校はさらなる飛躍に向けて頑張っています。

スポーツ実績 2008 Summer~Autumn

水泳部

群馬県高等学校総合体育大会(水泳) (優勝のみを記載)

- 男子:学校対抗 総合優勝
- 競泳・200m自由形 池田 翔(2-B)
- ・400m自由形 正田達成(1-C)
- ・100m背泳ぎ 角田隼人(1-A)
- ・200m平泳ぎ 瀬谷慶成(2-C)
- ・200mバタフライ 池田 翔
- ・200m個人メドレー 正田達成(大会新)
- ・400m個人メドレー 齋藤拓之(大会新)
- ・400mリレー (大澤竜也(1-B)→正田→池田→齋藤)
- ・800mリレー (齋藤→角田→正田→池田)
- ・400mメドレーリレー (角田→瀬谷→池田→齋藤)
- 女子
- 飛込・田中紀美子(3-3) 高飛込・3m飛板

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

- 男子
- 競泳・池田 翔 200m自由形 2位
- 女子:学校対抗 女子準優勝
- 飛込・田中紀美子 高飛込・3m飛板 3位

関東高等学校水泳競技大会

- 男子:学校対抗 7位
- 競泳・池田 翔 200m自由形 5位
- 400m自由形 5位
- ・齋藤拓之 200m個人メドレー 5位
- 400m個人メドレー 4位
- ・正田達成 200m個人メドレー 8位
- 400m個人メドレー 7位

男子

- ・800mリレー (角田→齋藤→正田→池田) 6位
- 女子:学校対抗 準優勝
- 飛込・田中紀美子 高飛込・3m飛板 2位
- 国民体育大会(チャレンジ!おおい国体)
- 少年男子
- 競泳・池田 翔 400m自由形 2位
- 200mバタフライ 6位
- ・齋藤拓之 400m個人メドレー 3位
- ・正田達成 100m平泳ぎ 4位
- 200m個人メドレー 2位
- 少年女子
- 飛込
- ・田中紀美子 高飛込 優勝
- 3m飛板 2位

陸上部

- 国民体育大会
- 少年男子・100m 4×100mリレー 中島有人(1-B) 出場
- 日本ジュニア・ユース陸上選手権大会
- ・400m 小林優仁(2-A) 2位
- 関東高校選抜新人陸上選手権大会
- ・100m 渡辺武宏(2-C) 3位
- ・200m 小林優仁 優勝
- ・400m 小林優仁 優勝
- ・400m 有本 暁(2-C) 3位
- ・4×100mリレー 3位 (鎌木陽介(2-C)→渡辺→小林→中島)
- ・4×400mリレー 優勝 (鎌木→有本→渡辺→小林)

走り高跳

- 中島大輔(2-7) 6位
- ・棒高跳 唐沢昂平(2-C) 4位
- ・円盤投 石井崇寛(2-B) 優勝

県高校駅伝兼関東全国予選 優勝

- 鳥羽和晃(3-A)→原田祐輝(2-A)→飯塚涼太(3-2)→中澤大地(3-A)→須永喬諒(2-C)→畔上翔平(2-4)→安田佳祐(3-4)

自転車競技部

- 全国高等学校総合体育大会・スプリント 武藤龍生(3-A) 決勝進出
- 国民体育大会
- 少年男子・スプリント 武藤龍生 5位

硬式野球部

- 全国高校野球選手権 群馬大会
- ・ベスト8

サッカー部

- 全国高等学校総合体育大会 出場
- 高円宮杯全日本ユース選手権大会(U-18) ・ベスト8

ボクシング部

- 全国高等学校総合体育大会
- ・ライト級 高橋一貴(2-6) 出場

バスケットボール部

- 全国高等学校総合体育大会 出場

全国高等学校選抜優勝大会(ウィンターカップ) 出場決定

ウェイトリフティング部

- 全国高等学校総合体育大会
- ・94kg級 舟喜誠生(2-5) 出場
- 国民体育大会
- ・94kg級 舟喜誠生 ジャーク 8位

テニス部

- 全国高等学校総合体育大会
- 男子
- ・陶山広二(3-2) シングルス 出場
- ・川田一歩(3-3) ダブルス 出場
- ・中澤拓矢(2-3) ダブルス 出場
- 女子:団体 出場
- ・飯塚ひとみ(3-2) ダブルス 出場
- ・中東涼子(1-3) シングルス/ダブルス 出場

国民体育大会

- 男子
- ・青木義孝(1-2) 出場
- 女子:団体 出場
- ・中東涼子 出場

柔道部

- 全国高等学校総合体育大会
- 団体 出場
- 個人 出場
- ・73kg級 北岡 駿(2-B)
- ・100kg級 牧 拓未(3-B)
- ・100kg超級 茂木唯文(2-B)





「求めない」って言われても…。



浮世離れたほくですが。



詩を読むなんていつ以来!

保護者会だより

輪読会八月一日開催される

じゃあね

講師 久保田 和夫

輪になってひとつのテキストを読みついでいく会、つづめて輪読会。ほんの気まぐれから思いついたこの会もついに終わったか。そう思うと、一抹の寂しさが、ないわけではないが、ほっと安堵の胸をなでおろしているのが正直なところだ。

それにしても加藤典洋、鷺田清一、谷川俊太郎、赤坂憲雄など、ぼくが独断と偏見で選んだ変てこりんなエッセイや詩や評論をよくぞ読んできたものだ。それでも谷川俊太郎の詩「じゃあね」を読んだとき、ある保護者の方が涙ぐんだのはおどろいた。亡くなられた方の思いが脳裡を駆けめぐったとのこと、「ことばの力」を実感したときだった。悼尾を飾るにふさわしいと思っただけで加島祥造の『求めない』。世捨人のことばはとどきにくかったようだが、いつの日にか、ふっと思い出すことがあるかも

れない。ことばとはそんなものだからだ。最後に…。とてもたのしかった。じゃあね。

考える事はいい事だ!

文化委員長 九條 純代

「輪読会とは何をするのですか」「難しい話ですか」との質問がありました。話を聞いて一緒に考える時間です」と申し上げました。実のところ私も初めての参加で、久保田先生に一任いたしました。

八月一日午後4時より開会。加島祥造「求めない」の詩集を一人一節ずつ朗読し、思った事や気づいた事等を話し合いました。

「求めない」と言ったって、どうしても人間は「求める存在」なんだ。それはよく承知の上での「求めない」なんだ。「求めない」というのは求めないですむことは求めないってことなんだ…。

皆様も、この本を読んで一緒に考えてみませんか?日々の生活で忘れていた事を気づかせてくれます。こんな時間をいただいたことに感謝し輪読会も好評のうちに終了させて頂きましたこと、先生ならびに参加者の皆様のお陰と感謝いたしております。有難うございました。

恒例スポーツレクリエーション交流会開催!



汗かかってやっぱいいよね

総務委員長 松原 二三男

サーブ!レシーブ! トス!アタック!第二回保護者会スポーツレクリエーションには大変レベルの高いソフトバレーボールの始まりでした。学年対抗戦では、豪華賞品もかかり、最初は、穏やかに文字通りソフトでした。しかし、後半は、真剣に汗もかき、充実したソフトバレーでした。

二種目めのユニカールでは、かなり打ち解け、大笑いありやじありで、大変盛り上がり、一年生チームの総合優勝で終了しました。また伊藤直前会長はじめ先輩の皆様には、器具の用意等、大変お世話になりました。ありがとうございます。

来年も多くの参加を宜しくお願い致します。

「第58回全国高P連大会」に参加して

文化副委員長 高橋 すみ江

八月二十二日、二十三日の日程にて、「絆」をメインテーマに全国からPTA関係者の一万人以上が名古屋



に集結しました。今回育英高校からは7名が参加させて頂きました。一日目は、日本ガイシホールにて、日本経済のゆくえの講演がありました。「これからは、自分さえよければいい企業は、大変になる。」の一言が重く心に残りました。その後、分科会に分かれ、他校のPTAの取り組み事例を、こまかく聞き、二日目は奥田瑛二さんの講演がありました。熱気あふれる名古屋での経験をこれからPTA活動に役立てたいと思います。

マナーアップに参加して

生徒指導委員長 和泉 実千江

年三回のマナーアップ運動のうち6月20日・9月25日の二回を無事実施する事が出来ました。保護者会、教職員が一緒になり、本校正門をはじめ危険と思われる十数カ所を分担して実施しました。最近の子供達の登校風景としては、イヤホンをして自転車に乗っている姿が目につき、続いて斜め横断や二列走行と成っていました。子供達は毎日の事で、気にならなくなっているの



かも知れませんが、目の当

進路講演会

進路指導委員長 荻野 眞弓

本年度は十月二十五日(土)本校視聴覚室において、育英短期大学教授の小池庸生(のぶお)先生を講師にお迎えし『青年の心とその対応について』をテーマに講演会が開催されました。毎日の生活の中で当たり前のように接してきた高校生の親と子の関係を、青年期という時として大人のような扱いをされつつも子供扱いをされてしまう微妙な立場と、自我意識に目覚め不安定で変動しやすく当惑しながらも自分を見つけたさとする高校生の感情・情緒を理解し、親としてのあり方を考えさせられる講演でした。

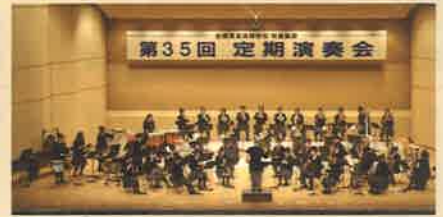
親も視線を少し下げ「付かず離れず」「見て見ぬふりをしつつ」「見守る事を忘れず」に何かが出来た事を認めたいという思いと裏腹、あやまちに気づいた時には怒るのではなく行いに対して叱る事、親も一貫性をもち言動を守り、ダメの多い叱り方をせず多くの達成感と成功感を経験させて子供を育てることの大切さを先生のユニークな実話を通して笑いが起こる中、再確認させられる有意義な時間でした。

ダメな子育ては無いそうですが、ダメな子供を創るのは簡単だそうです。そうなる前に先ずは子供の言葉に耳を傾け言葉のキャッチボールをし、小池先生のアドバイスを思い出して頂けたらと感じました。

講演会というところがちょっと堅苦しく感じてしまいがちですが色々な発見があります。より多くの方々のこれらの参加をお待ちしております。



吹奏楽部 第35回定期演奏会を終えて



指導者
熊井 正之

去る九月二十一日、前橋市民文化会館で第三十五回定期演奏会を開催致しました。当日は一〇〇〇名を超える方々にご来場頂き、盛大な演奏会となりましたが、これも偏に皆様方のご理解とご協力の賜物であると感謝申し上げます。

さて、私たち吹奏楽部は三年生が引退し、二年生を中心とした新体制の下、新たな船出を果たしました。徐々に部員数も増加し、表面的には順調に滑り出したかのように見えますが、現実には勉強との両立の問題など、課題が山積しています。ただ、これまで三年生の陰に隠れながらも地道に努力を積み重ねてきた一・二年生の力が、少しずつですが垣間見えてきました。技術的にはまだまだ未熟ですが、時には頼もしく思える場面も増えてきました。

学校生活の大半を楽器に捧げている彼らの熱意を汲み上げつつ、今後皆様も認めて頂けるような音楽作りを目標に、日々の練習に励んでいく決意しておりますので、今後ともご声援宜しくお願い致します。

一年保護者
五十嵐 早苗

市民文化会館大ホールがアンコールの拍手が鳴り響いている中、頭の中に今までの事が浮かび涙が溢れてきました。一年生のほとんどの子は、マーチングが初めてで、何も分からず練習が始まった毎日に、うまくいかず先生方の叱咤激励に悔しくて自宅で練習した日々もありました。先輩方の励ましに頑張ろうと暗くなるまで夏休み中もやりましたね。四十三人の心が一つになったマーチングは素晴らしいかったです。顧問の先生方保護者の方々、この場を提供して下さい。深く感謝致します。

中毛地区高P連 指導者研究会

体育副委員長 小椋 靖晃

研究会で親と子の共同発表がありました。この年代の子と親のコミュニケーションを取れなく悩む人にもない人が多くいるこの世の中あれほどの共同作業ができるという事に関心をもちました。自分の前に座っていた3人の人が涙を流すほどの内容でした。悩んでいるだけでないいろいろなコミュニケーションの事やってみるから始めるといった事を実感する研究会だったと思います。

前橋祭り生徒指導

生徒指導副委員長 北澤 晴美

十月十一日、前橋祭りの校外パトロールを実施致しました。校長先生を始め諸先生方役員の皆さんと二班に分かれての巡回・緊張の中にも和やかな雰囲気でのスタートとなりました。会場では恒例となりました「だんべえ踊り」あでやかな「山車」が祭りの雰囲気を一層盛り上げていました。しかしこのような楽しさとは裏腹に多くの犯罪がおこっているのも事実です。私達一人一人の協力で少しでも軽減できればと思います。私達大人が手本となっていくべきでしょう。

第十三回 合同研修視察旅行

11月7-8日



多目的ホール

進路資料室

十一月七日(金)〜八日(土)にかけて各会より三十一名の参加者で新潟県に行ってきました。今回は「新潟明訓高校」です。芥川賞作家も出ている文武両道の名門校です。

入学後のオリエンテーションでは、学習を習慣づけるために二泊三日の宿泊研修があります。朝テストや補習、それから熱心な先生方や明るく自由で活発な子どもたちは育英と同じでも気持ちの良い学校でした。

帰りには、菊花大会開催中の「弥彦神社」に参拝し育英の子どもたちの夢が叶うよう祈ってきました。

保護者会会長 加藤 圭子

前橋育英

雄渾

同窓会
だより

育英魂を持つて

50周年をめざす

同窓会長 関根 映一
(第1期生・昭和40年度卒)



同窓会員の皆様、お元気で
 しょうか。日頃より母校発展
 のため、物心ともに御協力を
 賜り心より感謝申し上げます。
 さて平成20年創立45周年記念
 として、同窓会名簿が発刊さ
 れました。5度目の発刊であ
 りますが、内容をみてみると、
 校歌、歴代の校長、記念行事、
 想い出の学舎等々、一人一人
 の顔や、育英での思い出が蘇り、
 懐かしく、いとささえ感じ
 る思いです。今年一年「育英と
 自分自身」を考えますと、高校
 や短大の卒業式、入学式、伊香
 保温泉での一期生の集い(校
 長先生参加)、高校総体男子優
 勝、祝賀会、野球部春、夏の応援
 同窓会の総会、クラブ活動へ
 激励金の授与、北京オリンピ
 ック(同窓生参加)応援、名簿
 作成等々、又これから実施さ

れる合同研修、育英高校ゴル
 フコンペ、バザーや募金活動
 等ボランティア活動、最後に
 評議員、及び同窓会入会式、壮
 行会など、30年近く役員をさ
 せて頂いておりますが、今年
 は特に忙しい様な気がしてお
 ります。

創立者中村有三先生は、同
 窓会名簿の挨拶文に、熱い思
 いの体験を述べております。
 前橋に私立男子高校の普通科
 を、中学浪人を出すなど、猛烈
 な反対の中、強固の意志を通
 され、そして短大、幼稚園、専
 門学校、学園の基礎を創って
 下さいました。従って私達は
 今日あるんだと思っております。
 中村先生は、80才に届こう
 としております。一期生も還暦
 を迎えておりますが、先生に
 負けずに、元気で頑張りたい
 と思っております。翻って考
 えますに、私の人生の師は叫
 びました。「恩を受けながら感
 謝のない人間に福運はない」と。
 私は前橋市の市議会議員とし
 て、20年間続けさせて頂きま
 した。引退してまもなく8年
 目になろうとしております。又
 現在前橋ライオンズクラブで、
 社会貢献をさせて頂いており
 ますが、さらに、勉強して、経

済界の中で、生きていきたい
 と考えております。同窓会員
 の皆様、育英魂をもって50周
 年めざして人生をかつぽして
 いきましょう。皆様の御健康
 と御健闘を祈っております。

親子二代同窓生

母校の成長に喜び

後藤 聡 (第12期生)
弘光 (第45期生)



縁あって私の長男が前橋育
 英高校に進学することになり、
 県民会館大ホールで挙行され
 た入学式に出席しました。私の
 時と比較すると、とても盛大で
 華やかな入学式で驚きました。
 母校がこんなにも成長したこ
 とは卒業生として喜ばしい限
 りです。これもひとえに皆様方
 の努力の賜物でありますこと
 を心よりお礼申し上げます。こ
 のような立派な学校に親子二
 代に渡りお世話になることが
 出来、喜びに堪えません。
 当時、私は進学クラスに在籍
 し、先生方のご指導のお陰をも

つて都内の私立大学へ進学し
 ました。現在は国家公務員にな
 り地元、前橋で勤務しています。
 私の職場でも当校卒業生が立
 派に活躍しています。今春は第
 一期生の大先輩が定年退官さ
 れました。私の定年はまだ10年
 先ですが、先輩を見習い、母校
 の名を汚すことなく頑張ろう
 と決意しています。

最後になりますが、前橋育英
 高校の益々のご発展と皆様のご
 活躍を心よりお祈り申し上
 げます。

私の近況報告

部活動を振り返ってみて

高崎経済大学経済学部経済学科3年

久保 秀隆
(第41期生)



私が母校を卒業して早くも
 3年が経とうとしている。私の
 高校時代の思い出として残っ
 ていることの第一に部活動が
 あげられる。私は剣道部に所属
 しており、高橋忠嗣先生(剣道
 部監督をはじめとする先生方
 に大変お世話になった。剣道部
 の練習は厳しく、辞めようと思
 ったことは何度もあったが、そ
 のような中で常に「心の支え」
 となっていたのは剣道部の仲
 間であった。昔風に言えば「同

じ釜の飯を食べた仲間」といっ
 た感じで、合宿や遠征時には寝
 食を共にし、皆で励ましあい、
 全国大会へ向けて厳しい練習
 に耐えた日々は一生忘れられ
 ない。結果としてベスト4にと
 どまり、全国大会へ出場するこ
 とは出来なかつたものの、部活
 動と勉強を両立してきた高校
 生活は現在の私を形成してく
 れた貴重な経験であったと思っ
 ている。

現在、私は高崎経済大学に通
 っておりゼミナール活動、サー
 クル活動など充実した日々を
 おくっている。これから就職活
 動、社会人と厳しいことが待ち
 受けているが、前橋育英での先
 生や仲間との出会いによつて
 生まれた経験を糧にこれから
 も頑張っていきたい。

変わらぬ思い

おおさわ接骨院院長
大澤 均
(第11期生)



大学卒業後、柔道整復師を志
 し、東京柔道専門学校へ入学。昼
 は大学での柔道部コーチ、夜は
 学校へと忙しくはありましたが、
 充実した二年間を経て資格を取
 得、その後故郷に戻り、柔道の面
 でも恩師にあたる田島敏隆先生
 の元で四年間の修行を経験し、
 昭和61年4月、現在の地、前橋市
 鳥取町にて開業に至ります。

夢と希望に満ちあふれた毎日
 ではありませんが、現在に至る
 までには数々の苦勞もありまし
 た。今もなお厳しい日々と苦勞
 の進行型ではありますが、「人生
 山あり、谷あり」自分の選んだ道
 に誇りを持ち、「初心忘るべから
 ず」をモットーに技術向上を目
 指し、努力している毎日です。

退職に際し

「や」と同窓生」



保健体育
三川 高

来年3月末に35年間の教師生活
 を卒業する。自分は昭和42年3月
 に2期生として本校を卒業、大学、
 社会人を経て49年に母校に体育教
 師として奉職、前年に高進館(英数
 学館)に勤務しており実際には通
 算36年間、育英学園等でお世話に
 なる。52年3月に初の卒業生(12期
 普通科女子)を送り出して以来、保
 育科、普通科体育コース、普通科男
 子と送り出し、20年の3月に最後
 の卒業生(保育科)を送り出したが
 体育科と英語科(現在無し)の卒業
 生は出していない。

振り返ると育英の発展が一目瞭
 然と見えてくる。生徒の質、進学実
 績、生徒指導(生活指導)面等々が
 特段に向上した。男子排球部も同
 様である。

同窓会係として会議等に参加、
 教員と言う立場が邪魔をしたが卒
 業と同時に「や」と同窓生になる。

後援会だより

何事もひるまず「挑戦」



前田 勇

前橋育英高等学校
後援会会長

「茶は服のよきように点て、炭は湯の沸くように置き、花は野にあるように、夏は涼しく冬暖かに、刻限は早めに、降らずとも傘の用意、相客に心せよ」

これは、茶の湯の心得の利休七則であります。

八年前にロータリークラブの地区大会の記念行事として「呈茶席」を設けることになり、その実行委員長を任命された時のことです。

私はお茶についての素養は全くないので、何度も固辞しましたが、結局受け

ることとなりました。

この時から未知の分野のお茶への挑戦が始まりました。大会が終わってからも、現在に至るまでお茶の勉強は続いております。

お茶の精神と云えば、利休が唱えた「和敬静寂」の四字に集約されていることも学ぶことができました。

「他人への思いやり、おもてなしの心、そして同志仲良く、敬い合い、清らかな心で、物事に動じない心を養うこと」であります。

私はお茶への挑戦によって、人間としての価値を少しでも高めることができたのではないかと思っております。

若い生徒諸君も、学習やスポーツなんでも、新しいこと未知なことにひるまず勇氣をもって挑戦して欲しいと願うものであります。

優秀「育英生」を顕賞

平成二十年度第六十三回国民体育大会 高飛込優勝

水泳部

田中 紀美子さん

後援会規定による今年度の「優秀育英生」の対象者は、水泳高飛び込みの田中紀美子さんに決定しました。

後援会長と学校長より、十月三十一日、本校校長室にて顕賞式が行われました。今後、更なる活躍が期待されます。



第十三回先進私学視察 合同研修会 今年度は「新潟明訓中・高等学校」へ

育英高校では、後援会を中心に、保護者会、同窓会、協力会、退職教職員会、学園関係者の協力で、毎年私学先進校の視察研修会を行っています。



今年度は、十一月七日(金)と八日(土)の両日、新潟明訓中学校・高等学校を訪問してまいりました。明訓と言えは、かの水島新司のマンガ「ドカベン」を思い浮かべます。その通り、この明訓高校は、「ドカベン」のモデル校なのです。新潟明訓中学校、高等学校は一九二一年(大正十年)夜間中学校として学びたいと考えた労働者・青年会が近隣の公立学校教師に頼み、大畑小学校の校舎を一部借用開校「新潟夜間中学講習会」を組織したユニークな私塾が起源と言われています。

後援会役員紹介

会長 前田 勇
副会長(26名)

- 岩佐 直衛
- 島崎 俊夫
- 佐原 政巳
- 原 時夫
- 押田 義一
- 岸 稔
- 田中 公正
- 宮崎 弘明
- 佐伯 詔一
- 狩野 議一
- 田村 和彦
- 星野 信次
- 小池 静男
- 手島 安榮

(故)

- 浅田 千秋
- 笹澤 智治
- 斎藤 隆
- 福井 久
- 福島 英人
- 狩野 浩志
- 佐田 知弘
- 遠山 浩二
- 武田 弘之
- 小田切 芳典
- 伊藤 昌司
- 加藤 圭子
- 城田 博巳
- 長谷川 容弘
- 運営委員会(20名)
- 前田 勇
- 田中 公正

(故)

- 佐伯 詔一
- 狩野 議一
- 田村 和彦
- 星野 信次
- 小池 静男
- 浅田 千秋
- 笹澤 智治
- 斎藤 隆
- 福井 久
- 福島 英人
- 狩野 浩志
- 佐田 知弘
- 遠山 浩二
- 武田 弘之
- 小田切 芳典
- 伊藤 昌司
- 加藤 圭子
- 城田 博巳



明訓中学校・高等学校 正面玄関前

開校87年、今では春・夏6回の甲子園出場を始め、盛んな部活動は勿論、進学面では国立公立86名、私大は早稲田・立命館など多数の合格者を出しています。

当日の研修視察参加者は31名、晩秋の新潟路を満喫バス中での語らいも楽しく、二日間の旅を無事終了いたしました。

コラム育英「成せば成る」

上武大が箱根駅伝への出場を決めた。予選会で何と並居る強豪校を押え三位に入った。駅伝界では地方の無名大学、一流選手が集まっているわけでもない。五年前に、早稲田大出身の花田勝彦氏を監督として招へい。「箱根は無理だ。」と言われつつ、「夢は必ずかなう。」と、選手を励まし、選手も監督の指導を信じ、自らを鍛えてきたとのこと。「成せば成る」、地方の大学でも、普通の選手でも、目標を持ち、夢を忘れず努力すれば、必ず花が開くことを上武大のチームは教えてくれた。

我が前橋育英も、この冬十八年ぶりに駅伝で京都路を走ることなつた。共におめでとう!!

(S記)

Science Partnership Project (文部科学省主催)

■ S P P (生物分野)

群馬大学の大澤研二教授にお願いし、「生体ナノマシン〜人類の希望と夢〜」をテーマに掲げサルモネラ菌に関する研究を8月5日・7日・8日の日程で実施した。



2年8組 加藤 木綿子

SPPに参加する前までは、工学部での細菌研究はどのようなものなのか興味を持っていた。講義を受けてみると、生物に近い内容で取り組みやすく実験が楽しみなった。

実験では、普段の授業では出来ない多くの実験を行った。肉眼では確認できないサルモネラ菌が、顕微鏡で見ると活発に動いていてとても驚いた。実験後のディスカッションでは、自分とは違った意見を聞き、様々な意見を聞くことの大切さや、視点を変えて考えることの大切さを学ぶことができた。

SPPに参加し、多くのことを経験して成長することができた。またこのような機会があれば参加したい。

■ 米国派遣事業 (県教育委員会主催)

今年度、本校からは3名が参加し、8月14日〜24日の11日間、NASAのケネディ、ジョンソンスペースセンター等の見学と現役宇宙飛行士による講義を受けた。



2年9組 高橋 布美奈

米国での11日間は驚きと感動の連続で、一生忘れられない経験となった。

アメリカでは全てのものが新鮮で、特にネイティブな英語に苦戦し、自分の未熟さを改めて実感した。

NASAでは、今まで人類が成し遂げてきた宇宙開発の功績と、世界最先端の科学技術の素晴らしさに感銘を受けた。中でも、宇宙飛行士の星出さんや、NASAで活躍されている日本人の方々とお会いできたことで、今の自分の生き方や、勉学に対する姿勢を考え直させられた。そして、将来進みたい道がより明確になった気がする。

この研修で学んだたくさんの方のことを、これからの進路・将来に役立て頑張っていきたい。

■ ノーベル賞受賞者特別講演

10月8日には群馬県民会館において、ノーベル賞受賞者の特別講演が開催され本校からは4名が参加した。



2年9組 藤原 美里

今回、2人のノーベル賞受賞者のとても貴重な講演を聞くことができた。地球温暖化の真実を探る研究や、新しく発見された粒子の真相など、気の遠くなるような実験をし、長い年月をかけてこの名誉を得ることができたそうだ。科学というものは、「人間がつくり上げてきたイノベーション」とおっしゃっていた。日々の生活の中で消費しているエネルギーを見直してみる。そこには小さなことでも新しい発見があり、疑問も多く生まれてくる。その研究をしていく過程で、たとえ周りから認められず、否定されたとしても、自分の信念を曲げず、努力を重ねていく。その先にはきっと自分の追い求めてきた真実とめぐり合える。このことを、講演を通して、心に強く刻むことができた。

前橋育英高校報 第13号

発行●前橋育英高等学校 TEL:027-251-7087 FAX:027-252-9419 E-mail:office@maebashiikeui-h.ed.jp

印刷●株式会社ヤマザキ 高崎市巾着町483-8 TEL:027-344-3211(代)

■ 囲碁将棋部 県高校囲碁選手権

- ・団体戦 女子優勝/男子第3位
- ・個人戦 女子優勝 野倉みゆき(3-6)
- 女子第4位 品川りえ(3-6)
- 男子第6位 井上直人(3-8)



女子団体戦と女子個人戦は全国高校囲碁選手権に出場しました。また、上記3名と女子団体戦優勝メンバーの新高校総合文化祭に県代表として出場しました。

■ 北京オリンピック報告

ウェイトリフティング 山田政晴選手(群馬総合ガードシステム)

第9位と入賞にはわずかにあと一歩及びみせんでしたが、アテネオリンピックの時の成績・記録を上回る自己ベストを達成しました。(259kg スナッチ106kg、ジャーク153kg=日本新)

男子サッカー 細貝萌選手(浦和レッドダイヤモンズ)

反町ジャパンは3戦全敗で無念の予選リーグ敗退に終わりましたが、細貝選手はナイジェリア戦、オランダ戦に先発出場し、その存在感を示してくれました。今後、A代表としての活躍を期待します。

■ スポーツエアロピクス世界大会 優勝!!

この夏、アメリカのラスベガスで行われたInternational Aerobic Championship世界大会において、普通科1年の神尾藍里さんが<AGE GROUP 2 (15歳から17歳)>部門のトリオに出場し見事に優勝!! スポーツエアロピクスの分野で世界一の栄冠を手に入れました!!



神尾藍里さんの喜びのコメント

「今回世界大会で優勝し、追いつかれる立場になった。この成績に満足しないで、今まで以上に頑張っていきたいと思います。」

■ サッカー部 三年連続全国大会出場!!

この2006年(KEY WORDS)を選手達は最後までやろうと努力してくれた。途中うまくいかない面もあったが、切り替え、もう一度闘い、もう一度チャレンジした。その結果、3年連続14回目の優勝を勝ち取ることができた。選手達、応援してくれたい選手、保護者の皆様、またあらゆる面でサポートしてくれた関係者の方々、本当にありがとうございます。しかし、聞いただけでは、明日から全国に向け気持ちを切り替え、日々の猛練習にトライします。全国大会では一皮むけた選手達をお見せしたいと思います。



サッカー部監督 山田 耕介
11月9日決勝戦、風がなくて一安心、今日の試合のKEY WORDSは「Pressing」と「Try Activity」であった。準決勝で前橋商業の志保あづるのディフェンスは非常に参考になり、我々が理想とする運動した守備を最後まで粘り強くやり続けた。このサッカーを忘れていた。もう一度原点にもどろう。サッカーは、技術・戦術だけではなく、走り勝つ(競り勝つ)・抱い勝つ(気持ちで勝つ)こんな大切なことを忘れていた。もう一つは、常に前向き、失敗を恐れずトライしようである。常に前向き、失敗を恐れずトライしようである。常に前向き、失敗を恐れずトライしようである。常に前向き、失敗を恐れずトライしようである。

■ 明石杯 高校生英語コンテスト

前橋支部予選会 スピーチ部門 第1位!!

「明石杯 高校生英語コンテスト」(主催:群馬県高等学校教育研究会英語部会、群馬県立女子大学外国語教育研究所、群馬県教育委員会)の前橋支部予選会が、10/17(金)に県立前橋女子高校で行われ、本校の生徒3名が出場しました。スピーチ部門では、森下朋香さん(普通科2-5)が堂々の第1位。スピーチのテーマは「A Club with a Different Ring」。全国でも珍しい女子ボクシングにチャレンジしている経験をもとに、毎日の高校生活を自らの言葉で語りました。レシーション(暗唱)部門では材木里奈さん(普通科3-2)が第3位、廣瀬理沙さん(普通科2-6)が第5位に入賞しました。森下さんと材木さんは11/20(金)に行われる「明石杯」高校生の英語コンテスト」の本選に出場が決まりました。本選での活躍が期待されます。



森下朋香さん

高学後	同	保護者会
” ” ”	援 ” 窓 ” ” ”	” ” ”
校 園 会	会	会
宮岡湯佐岩城上阿石高山九	澤上本藤川田原久原橋嵩	泰 津 美 幸 純
千直俊一正博敏広佐み幸純	春美明郎典巳広嗣枝江代	

戸塚恵理子先生
平成20(2008)年 9月4日(永眠享年48歳)
戸塚先生は昭和58(1983)年に赴任されて以来、25年におたり保健体育の教諭として、生徒指導担当として活躍。またダンス部を熱心に指導し、全国大会に出場させるまで成長させました。志半ばで病魔に倒れた戸塚先生のご冥福をお祈りします。

ホームページリニューアルのお知らせ
前橋育英ホームページが新しくなりました!
また、校内の身近な話題は公式ブログ
「前橋育英 Sports & Culture」にて随時更新しています。
ホームページ <http://www.maebashiikeui-h.ed.jp>
ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/maeikusc>

ウェブ登録サイト:画像・動画・ブログ・辞書・知恵袋・エリア・商品
前橋育英 検索

『前橋育英』で検索!!